

3.目標を達成するための施策

▼基本方針及び目標に基づく施策一覧

今後の施策	施策概要	基本方針①		基本方針②		基本方針③	基本方針④
		目標①	目標②	目標③	目標④	目標⑤	目標⑥
施策1 地域公共交通サービスの維持確保及び改善	●市民が安心して生活できる持続可能な地域公共交通サービスを提供するため、利用者ニーズを把握しながら利便性向上に努め、国や北海道による補助の活用も想定しながら、現行の路線バス・自家有用償旅客運送の維持・確保を図ります。	●	●		○		
施策2 基幹交通の確立に向けたバス路線再編及びBHLS導入の検討	●基幹交通の区間は現在複数の系統が重複しているため、ダイヤ等の再編による運行の効率化について検討します。 ●バス運転手の不足が深刻化している中、ダイヤ等の再編による効率化だけでなく、輸送力の向上に向けて、BHLS（バス・ハイレベルサービス）の導入について検討します。	●			○		○
施策3 AIオンデマンド交通『いつモ』の本格運行	●路線バスに代わる石狩湾新港地域への効率的な新たな交通体系の確立及び市街地の周遊性向上を目的に現在実証運行を実施しているAIオンデマンド交通『いつモ』について、実証運行の結果を踏まえシステムや運行方法の改善を検討しながら早期の本格運行を目指します。	●	●		○		
施策4 バス交通空白地における移動手段の確保	●石狩市において広域に存在するバス交通空白地に対して、多様な移動手段（タクシー、乗合自動車、スクールバス、福祉輸送等）を活用して移動手段の確保に努めます。	●	●				
施策5 交通結節点の創出に向けた検討	●多様な交通手段による地域公共交通をシームレスに接続するためには、新たに円滑な乗り換えを可能とする交通結節点が必要となるため、現状で複数の系統が接続し、乗換が多く発生している市役所周辺や石狩湾新港地域へのアクセスを考慮した花川南地区や都市機能施設が集中する花川北地区などで交通結節点の創出を目指します。			●	○		
施策6 デジタル技術を活用した公共交通に関する情報発信機能の強化	●シームレスな乗継を可能とするため、交通結節点整備によるハード面の対応だけでなく、待ち時間を最小化するダイヤ編成に加え、利用者に乗換に必要な情報をわかりやすく情報提供するなどソフト面での対応の強化（スマートフォンアプリ『いつモ』の周知・機能強化、石狩市公式LINEによる情報発信等）を行います。				●	●	
施策7 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	●地域公共交通の維持に向けた市民の意識醸成《“住民が公共交通を利用して守る”や“公共交通を利用したい”》を図るため、学校・事業所・特定地区及び団体等を対象とした地域・世代に応じた利用促進策を実施し、利用しなければ存続出来ないといった危機感を地域住民とも共有し、公共交通への転換を促していきます。					●	
施策8 公共交通の担い手確保に向けた取組の推進	●多様な交通手段（路線バス、タクシー、自家有用償旅客運送）において、運転手の人手不足及び高齢化が深刻化しているため、担い手確保に対する対策として、関係機関と連携しながら様々な施策（職業体験、免許取得支援、説明会、広報活動等）を推進します。						●

施策2 基幹交通の確立に向けたバス路線再編及びBHLS導入の検討

▼【BHLS（バス・ハイレベルサービス）】

- 路面電車なみの機能を備えた次世代バスサービス



ノルウェー トロンハイムにおける事例
出典：Buspictures (<https://busphoto.eu/>)

施策6 デジタル技術を活用した公共交通に関する情報発信機能の強化

▼スマートフォンアプリ『いつモ』の現行搭載機能



路線バス・運行リアルタイム情報 路線バス・バスログ情報 市内オンデマンドと路線バスの乗り継ぎ経路検索 市内オンデマンドと路線バスの乗り継ぎ経路検索⇒予約画面

▼石狩市公式LINEによる運行情報発信



4. 計画の評価方法と進行管理

(1) 評価指標及び目標値

基本方針① 多様な手段による効率的・効果的な地域公共交通ネットワークの再構築			
目標① 階層的な地域公共交通ネットワークの形成による効率性の向上			
目標② 多様な交通手段の活用による持続可能な移動手段の確保			
評価指標		現状値 R5 (2023)	目標値 R12 (2030)
1) 公共交通利用者数		6,657 千人	7,760 千人
2) 公的資金が投入されている自家有用償旅客運送の収支率（スクールバス混乗除く）		13%	20%
3) 石狩湾新港地域就業者の公共交通利用割合		2%	5%
基本方針② 誰もが便利に利用出来るシームレスな利用環境の創出			
目標③ 円滑に乗換・待合可能な交通結節点の創出			
目標④ 利便性の高いダイヤ設定や運行情報発信の充実化			
4) 交通結節点の箇所数		1 箇所	2 箇所以上
5) 乗継・待合環境に対する満足度		12%	20%
基本方針③ 地域特性に応じた公共交通利用促進策の推進			
目標⑤ 公共交通を利用する市民意識の醸成			
6) 利用促進策の取組回数		4 回/年	5 回/年
基本方針④ 地域公共交通の担い手確保に向けた取組の推進			
目標⑥ 担い手確保による移動手段の維持確保			
7) 担い手確保に向けた取組回数		1 回/年	2 回/年

施策3 AIオンデマンド交通『いつモ』の本格運行

▼『いつモ』令和5年度実証運行チラシ



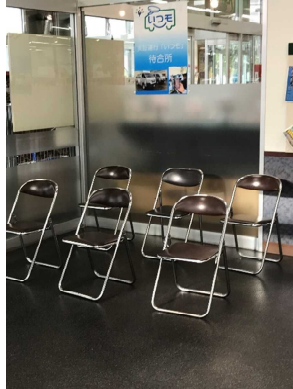
施策7 公共交通の利用促進に向けた取組の推進

▼『いつモ』の利用促進に向けた説明会開催状況



施策5 交通結節点の創出に向けた検討

▼『いつモ』における施設と連携した待合環境整備例（ラルズマート）



施策8 公共交通の担い手確保に向けた取組の推進

▼石狩市主催の合同企業就職説明会開催状況



(2) 計画の進行管理

- 本計画の基本方針に基づき実施する各種施策の進行管理及び評価指標に基づく目標の達成状況の評価については、「石狩市地域公共交通活性化協議会」が主体となって実施します。
- 施策に関わる全ての関係者（市民、交通事業者、行政等）が施策の進行状況や評価結果について共有しながら適宜改善や見直しを行っています。



《石狩市地域公共交通活性化協議会開催状況》